

蛭やハッチョウトンボ等の生態系保全や再生活動を実践

かしわざきし べつまた
新潟県柏崎市 『別俣地区』の活動

【地域の概要】

水田地帯、都市的農業地域、対象農用地面積 130.0ha、農家戸数 74 戸、混住化率 56%

【目指す方向等】

過疎化、高齢化、混住化の進行による集落の自治機能の低下により、資源の適切な保全・管理が困難な状況になってきている。

子供たちが地域の人や自然に関わりながら、ふるさとに誇りを持つことが地域の活性化になることを理念として活動している。

子供会や地区コミュニティとの連携により、農業体験の他、地域の環境美化活動を農家を中心に地域住民が一体となって取り組んでいる。

今後は、蛭やハッチョウトンボ（日本最小トンボ）等の生態系保全や再生活動をさらに展開していく。

【特徴的な取組】

蛭やハッチョウトンボの生態系保全や再生活動に取り組んでいる。

平成 12 年度から地域の発意で「田んぼの分校」を開校し、農業・自然体験活動を実施。

活動の区分	活動の概要
農地・水向上活動	施設ごとに機能診断を実施し、その診断結果に基づき施設の長寿命化を図る活動計画を策定し、簡易な補修・改修を効果的に実施等
農村環境向上活動	景観形成のための植栽・管理、蛭やハッチョウトンボの観察、水路周辺の草刈り、生き物調査

【構成員と役割】

構成員	主な役割
地区協議会（自治会）、農業者、コミュニティ振興協議会	・協定書に定める全ての活動を他の構成員と連携し実施 ・ただし畦畔や農地法面の草刈等は農業者が実施
別俣田んぼの分校、老人クラブ、子供会、小学校 P T A	・景観植物を植栽・管理 ・蛭やハッチョウトンボの生態系保全、再生活動、生き物調査、伝統的農法（ハサ掛けなど）の農業体験
J A 柏崎、別俣農業振興会 水土里ネット柏崎	・他構成員が実施する活動に対する支援（指導・助言・資機材貸与等）

【活動状況写真】



ハッチョウトンボ



フラワーロードの植栽



用水路の補修